

令和5年 区民のつどい開催報告

令和5年7月1日（土）神奈川公会堂にて「区民のつどい」が開催されました。第21期はコロナ禍のため、変則的な期間としています。各部会の中間報告は昨年12月にさせていただきましたので、今回は、関東大震災から100年目という節目の年にあたることから、防災にテーマを絞り開催させていただきました。期末の各部会報告は来年6月にさせていただく予定です。

当日の様様をご紹介します。

13時に開会し、代表委員挨拶、副区長挨拶、来賓・顧問紹介に続き、区民協議会の説明をさせていただきました。

その後、防災マップ、ハザードマップの活用の仕方を会場の皆様と一緒に学びました。防災マップ、ハザードマップは当日配布され、会場で一斉に開いて大事な項目をチェックする様は壮観でした。何かが起きた時にどこに避難するのか、その際の水はどこで確保するのか等の安全面だけでなく、土砂災害、延焼危険地域、各種水災害（津波、内水、洪水、高潮）等の危険性もわかります。また、配布した2種類のマップの他に液状化マップについても説明がありました。これらのマップはデジタル化されていますので（神奈川区役所ホームページからご覧になれます）、ご自身の地域を拡大して各地域でお使いいただくと良いと思います。なお、全戸配布されている防災マップにはシールが添付されていますが、地図本体にこのシールを貼ると、大事な記号が隠れてしまいますので、デジタル化されたマップからご自身の地域を拡大したものをプリントアウトしてからシールを貼ることをお勧めします。



これらのマップには、ご自身の安全に関わる情報と危険に関する情報が網羅されていますので、上手に活用して災害時に慌てないようにしていただきたいと思います。



マップの活用方法がわかった上で、2本のビデオを視聴しました。1本目は「神奈川県災害映像」、実際に過去神奈川県で起きた災害映像を視聴し、災害は起こりえるという認識を新たにすることができました。2本目は「熊本地震から学ぶ、こんな対策があなたを救う」、記憶に新しい熊本地震から今備えるべ

きことを学びました。

その後、神奈川区役所総務課防災担当係長2名にご登壇いただき、防災に関するご質問を会場の皆様からお受けしました。多くのご質問があり、皆様の防災に対する意識の高さを実感することができました。

この「区民のつどい」で得た経験、情報を今後の部会活動に活かしていきます。区民の皆さまのためになるような有益な活動となるよう努力を積み重ねていきます。

多くの方にご来場いただきましたことに御礼申し上げます。



● 区民のつどいでは、ご来場の皆様に意見・感想票を配布させていただきました。ご提出いただいた皆様に御礼申し上げます。いただいたご意見から一部を抜粋させていただきます。 ●

区民のつどい意見・感想票抜粋

- ・講演者が言われたとおり、初めて真剣にハザードマップを見ました。説明も分かりやすく大変参考になりました。
- ・災害は想定できないことなので今日の内容はとても役に立つと思います。
- ・防災マップ、ハザードマップについて見方や活用の仕方を学ばせていただきありがとうございました。これほど真剣に見たのは初めてです。
- ・ハザードマップの使い方、見方の説明がとても良かった。こんなにきちんとチェックをしたのが初めてでした。チェックできてとても安心しました。
- ・DVDを見てあらためて地域のみinnで助け合う事が大事。想定していても想定外の事が起こるということがわかりました。参加して良かったです。

この他にも貴重なご意見をたくさんいただきました。次回に向け、参考にさせていただきます。なお、行政に対するご意見・ご要望等は、行政からの回答を得た後、HPに掲載させていただきます。